

# あいち地産地消SAFサプライチェーン推進協議会

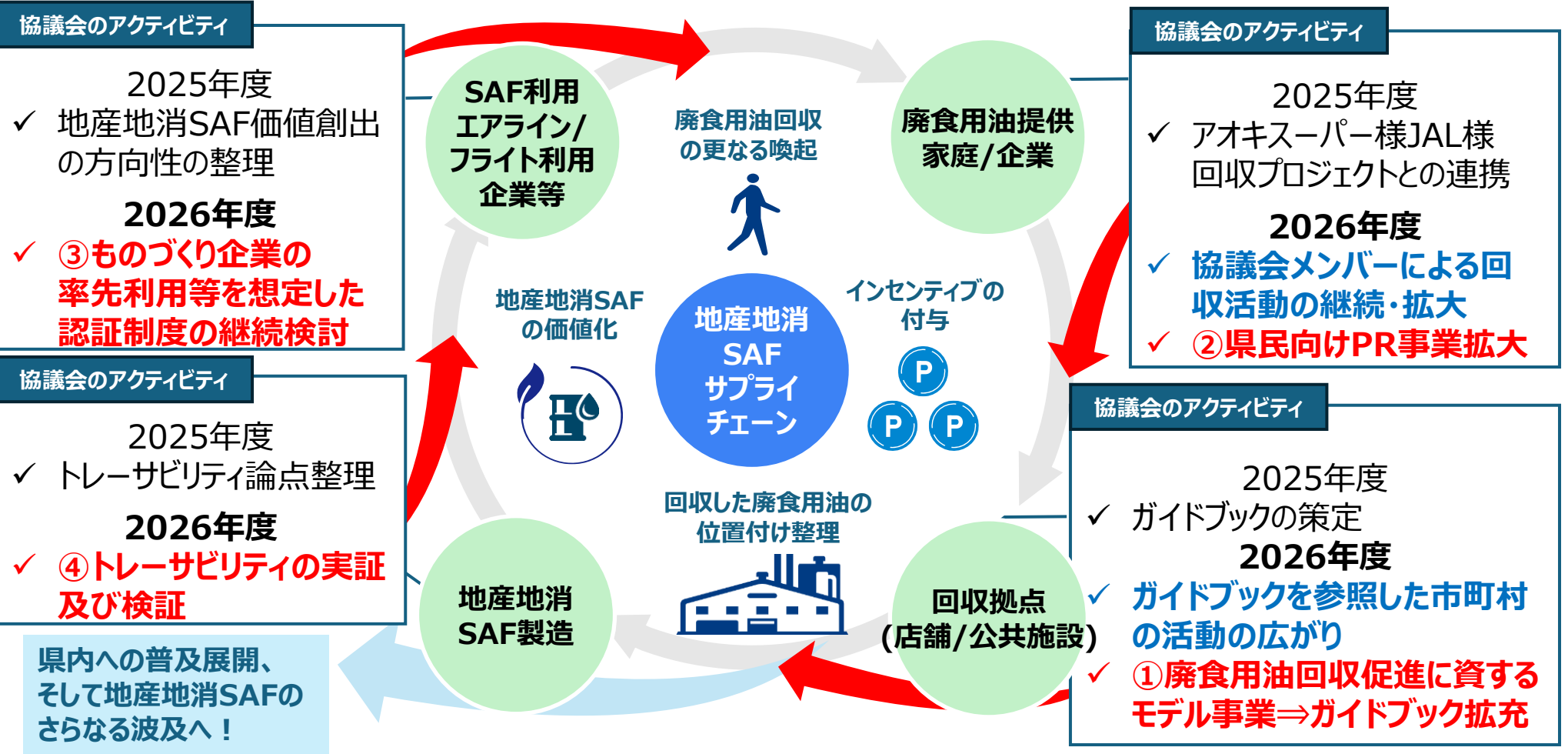
## 各ワーキンググループの検討内容

2026年7月8日（水）

愛知県経済産業局次世代モビリティ産業課

# ワーキンググループを通じた活動の全体像

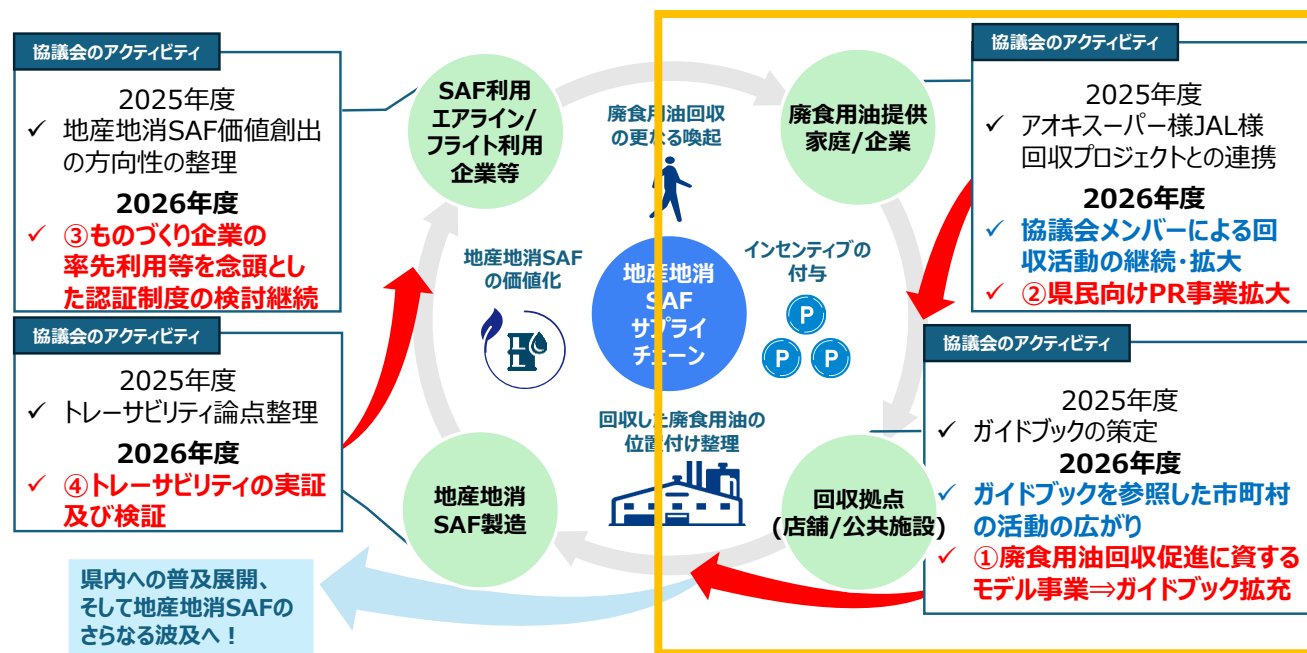
- 事務局では、今年4月以降、各ワーキンググループにおける活動として以下赤字で記したアイテムについて検討、関係各所と調整を進めてきているところ。
- 本資料では、それらの進捗についてご報告をさせて頂く。



# 原材料回収スキーム構築ワーキンググループの活動

# 原材料回収スキーム構築ワーキンググループの活動の方向性

- 2026年度は、昨年度作成した「廃食用油回収推進のためのガイドブック」の拡充を目的とし、モデル事業として新たな事例となり得る取り組みを進めるほか、ガイドブックを活用した取り組みのさらなる加速を図る。
- PR事業による普及啓発は、昨年度の尾張地域から県内全域へと対象を広げ、今年度は三河地域でも積極的にPRを展開する。
- スポーツチームの環境・社会貢献は世界的な流れとなっており、Jリーグもスポーツの環境貢献度を可視化するSPORT POSITIVE LEAGUES (SPL)を導入し、環境活動に力を入れ始めている。
- 当協議会においても、愛知県を代表するプロ・サッカーチームである名古屋グランパスエイトと連携し、SAFのPRを図るとともに、廃食用油回収体験の契機とする。



# ①廃食用油回収促進に資するモデル事業

## ■ 尾張地方（小牧市）におけるモデル事業

- ✓ 小牧小学校における出前授業（こまき「夢☆チャレンジ」）を実施予定

### 【テーマ】

「地球にやさしい空の旅をつくろう － ごみが飛行機を動かすってほんと？ －」

### 【総合学習日程】

- ・ 2026年10月～12月 3時間／回 × 全5回

### 【講座内容】

- ・ 捨てられてしまうことが多い身近な廃食用油が、航空燃料（SAF）として再利用される仕組みを学びながら、資源循環と地元にもなじみが深い航空産業との関わりについて探究する。

### 【主な学習内容】

- ・ 飛行機が飛ぶ仕組み 
- ・ 航空業界が環境問題にどのように取り組んでいるか 
- ・ 使い終わったものを再び資源として活用する「サーキュラーエコノミー」の考え方
- ・ ごみの収集やリサイクルの仕組み
- ・ 廃食用油が航空燃料（SAF）へ生まれ変わる仕組み 

授業の効果を  
確認  
(認知/関心/行動)

■ 愛知県内の普及を目指し、雛形とし実施内容・コンテンツをガイドブックへ反映

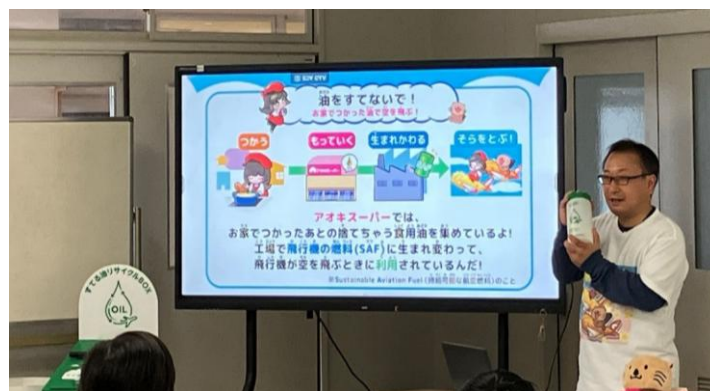
# 【参考】廃食用油回収推進のためのガイドブックにおける出前授業の位置付け

- 2025年度に取り纏めた「廃食用油回収推進のためのガイドブック」では、小学校における出前授業について、関心・行動・実践を喚起する位置付けとして整理。
- 今年度の小牧市における出前授業は、本協議会及び県ならではのコンテンツを整理し、関心・行動・実践をより促すために効果的な内容について考察、ガイドブックに反映させることとしたい。

## 推進策の事例① 小学校における出前授業【関心】【行動・実践】

- 廃食用油回収に関連する出前授業を実施。環境問題や資源循環の意識を向上。
- 民間企業と連携して取り組むことで、店舗での具体例や実際の活動が加わりより身近な問題として捉えやすくなる。
- 子どもたちが授業を通じて学んだことを家庭に持ち帰り、家族と共有することで地域全体に影響が広がる。

### 廃食用油回収に関する民間連携の出前授業



出所)三菱総合研究所撮影

# ① 廃食用油回収促進に資するモデル事業

## ■ 東三河地方におけるモデル事業

- ✓ 田原市様にて、家庭系廃食用油の回収拠点拡大に向けた検討を行う。
- ✓ 現時点ではSAFとしての活用は未定だが、今後、民間事業者と連携した回収拠点の新設等を検討する場合に、回収した廃食用油をSAF原料として活用できる可能性もあり得ることから、その方法や現行の事業との整理を行う。
- ✓ 参考として、新たに廃食用油回収拠点の設置を検討する場合の想定スケジュールを以下に示す（次年度回収開始のケース）。

| 実施項目        | 2026年度           | 2027年度           | 2028年度～        |
|-------------|------------------|------------------|----------------|
| ①回収拠点希望施設募集 | 募集条件・募集方法検討<br>→ | 募集開始・施設決定<br>→   |                |
| ②回収開始準備     |                  | 家庭系廃食用油回収準備<br>→ |                |
| ③廃食用油回収     |                  |                  | 家庭系廃食用油回収<br>→ |

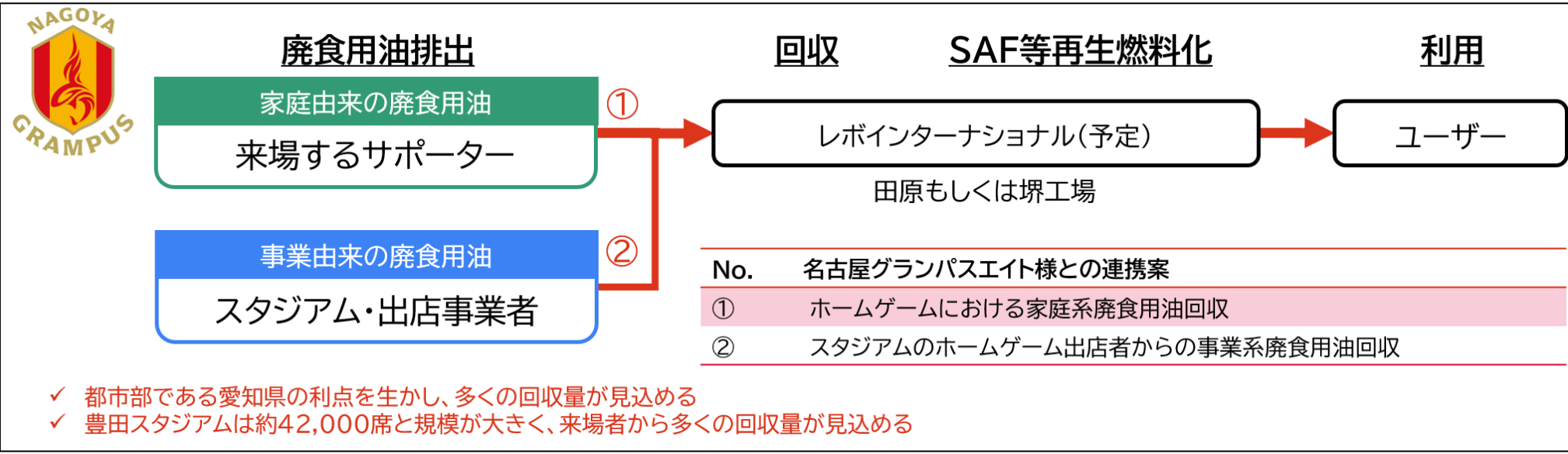


■ 家庭系廃食用油の回収スキームと利用先について整理し、ガイドブックへ反映

# ②県民向けPR事業

- 県民向けPR事業（名古屋グランパスエイト様ホームゲームでの廃食用油回収）
- ✓ 名古屋グランパスエイト様と連携した廃食用油回収イベントを実施する方向で調整中。
- ✓ ホームゲームでの廃食用油回収イベント：ホームゲームへの来場者を対象とした家庭系廃食用油回収とスタジアム出店者からの事業系廃食用油回収をイベントで実施予定。
- ✓ 普及啓発のためのインセンティブ：協議会（SAF）×グランパスエイトの限定グッズの配布を検討中。
- ✓ ホームゲームで実施する環境系イベント（グランパスサステナEXPO）等との連携を検討中。

## 名古屋グランパスエイト様との連携イベント検討案（2026年度）



■ 2028年度の地産地消SAFの社会実装に向けた起点として取組む。構成員メンバーとの連携も検討していきたい。

# 【参考】スポーツチームを起点とする機運醸成の先行事例

- 近年、スポーツチームを起点とする廃食用油回収を含めた機運醸成、サステナビリティの取り組みが進展。
  - ✓ 名古屋グランパスエイトにおいては「グランパスサステナEXPO～サッカーがつなぐ未来～」を昨年度初開催。
  - ✓ 本協議会構成メンバーであるJALにおいては、浦安D-Rocksと連携した廃食用油の回収の取り組みがある。
- プロスポーツクラブの気候変動対策や環境への取り組みを数値化し、その進捗をランキング形式で可視化する国際的な評価の仕組みSPORT POSITIVE LEAGUES（SPL）も始まっており、相互のメリットを追求。

## （参考）スポーツチームを起点とする機運醸成の先行事例

9月20日（土）に行われた明治安田 J 1リーグ第30節湘南ベルマーレ戦にあわせ、豊田スタジアム東西イベント広場で「グランパスサステナEXPO ～サッカーがつなぐ未来～」を初開催しました！

気候アクションや共生社会をテーマにした4つのパビリオンを展開し、阿部翔平さんやモリゾー・キックロとともに会場を盛り上げました。当日の様子をまとめた動画をご用意しました。ぜひご覧いただき、現地の雰囲気を感じていただければと思います。この後には写真や記事でも詳細をご紹介しますので、あわせてお楽しみください。



(共同リリース)



2025年6月30日  
日本航空株式会社  
浦安D-Rocks

ファンの廃食油で空を飛ぼう！SAFを活用した日本初の挑戦が始まります  
～浦安D-Rocks × JAL、ファンと共に実現する「飛ぶサステナビリティ」～



# ②県民向けPR事業

他地域での開催も検討中

## ■ 県民向けPR事業（地域イベントと連携）

- ✓ 田原市主催のSDGsイベントと連携したPR事業を実施予定
  - ・ レボインターナショナル社にもご参加いただく
  - ・ 実物展示やクイズを通じて楽しく学べるブースを設置
  - ・ パネル等を展示し、家庭から出る廃食用油がSAFとして活用されるまでの流れを説明
- ✓ 新城市で開催されている「しんしろ軽トラ市」でのPR事業を実施予定
  - ・ パネル等を展示し、家庭から出る廃食用油がSAFとして活用されるまでの流れを説明
  - ・ 会場で廃食用油を回収



①田原市SDGsフェスタ2025

## ■ 既存イベント連携の雛形としてガイドブックに反映

出所：  
①田原市SDGsフェスタ2025, 田原市ホームページ  
(<https://www.city.tahara.aichi.jp/event/sonota/1011987.html>)  
②しんしろ軽トラ市「のんほいリゾート」公式サイト (<https://nonhoi-roulottes.jimdofree.com/>)  
(いずれも2026/6/22閲覧)

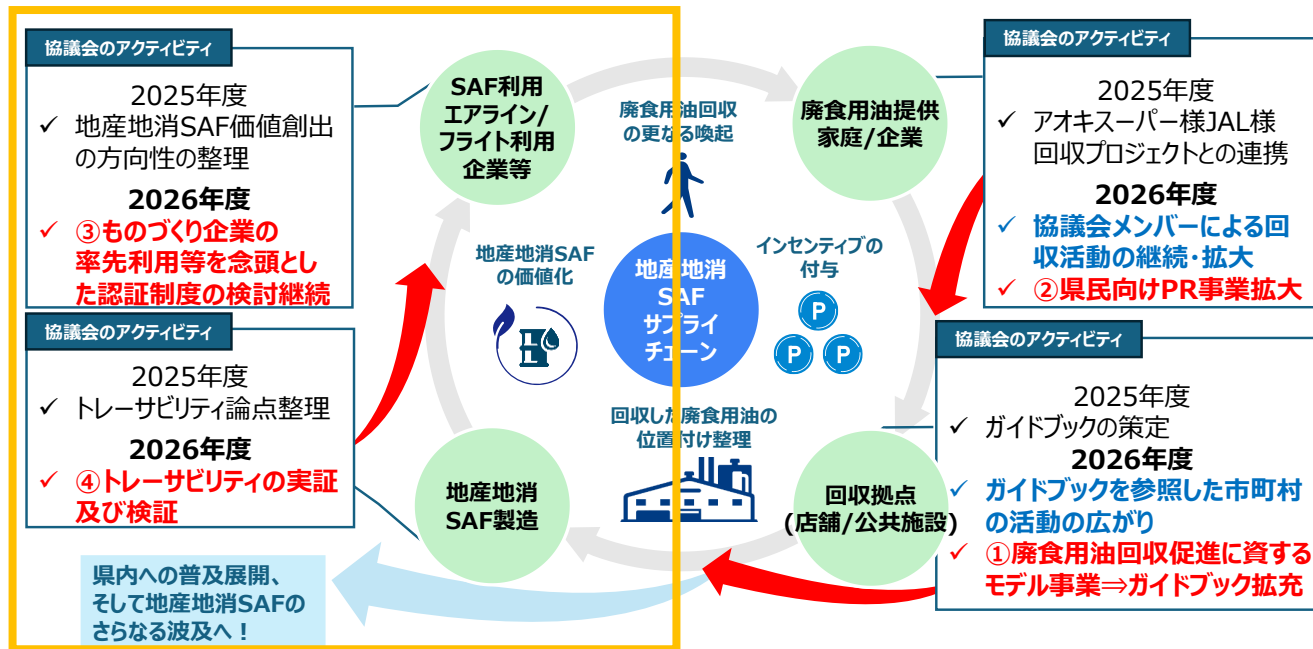


②しんしろ軽トラ市

# 認証制度ワーキンググループの活動

# 認証制度ワーキンググループの活動の方向性

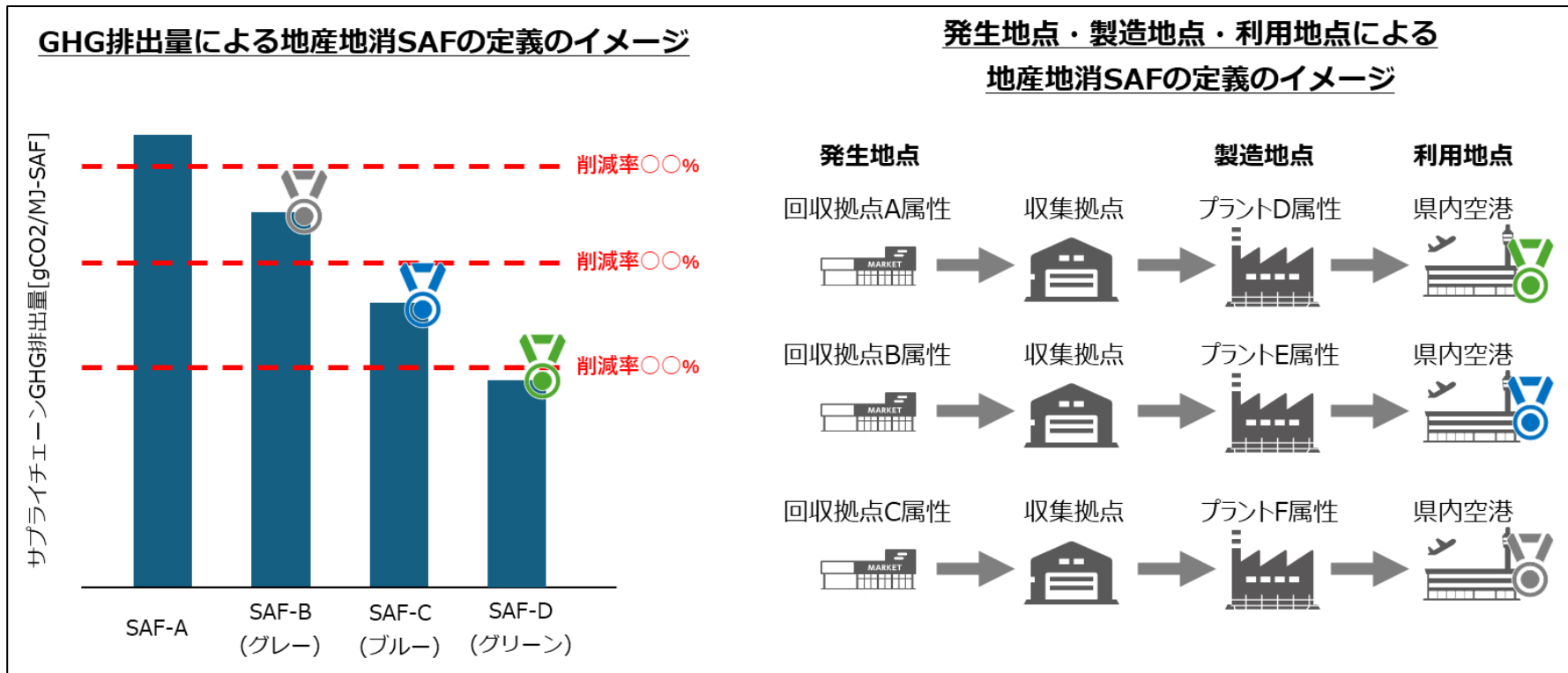
- 2025年度、認証制度WGでは、「地産地消SAFの価値化」の検討として、個人需要家向けサービスや法人需要家向けのキャッシュフロー創出策のアイデアを整理するとともに、地域経済への波及効果の見える化・機運醸成の方向性を整理した。
- また、「トレーサビリティの実証計画」として、廃食用油提供者にSAFの利用情報について情報還元（トレースバック）する仕組みを検証する計画について整理を行った。
- 2026年度は、地産地消SAF等の利用に関心を有する構成員メンバーによる、具体的なニーズを把握し、地産地消SAFの価値訴求の方向性や、地産地消SAFの定義について引き続き検討する。
- また、トレーサビリティの実証として、地産地消SAFの定義に必要な情報を収集するとともに、回収協力者への情報還元（トレースバック）による廃食用油回収促進の可能性を検証する。



# ③ものづくり企業の率先利用等を想定した認証制度の継続検討

- 今年度に入り、構成員メンバー複数社から事務局宛に、地産地消SAF等の利用について関心が寄せられているところ。
- 今後、構成員メンバー複数社の具体的な要請や、後述のトレーサビリティ実証及び検証の成果に基づくことを中心として、地産地消SAFの定義や認証制度のあり方について検討を深めていく。

2025年度に整理した地産地消SAFの定義の候補

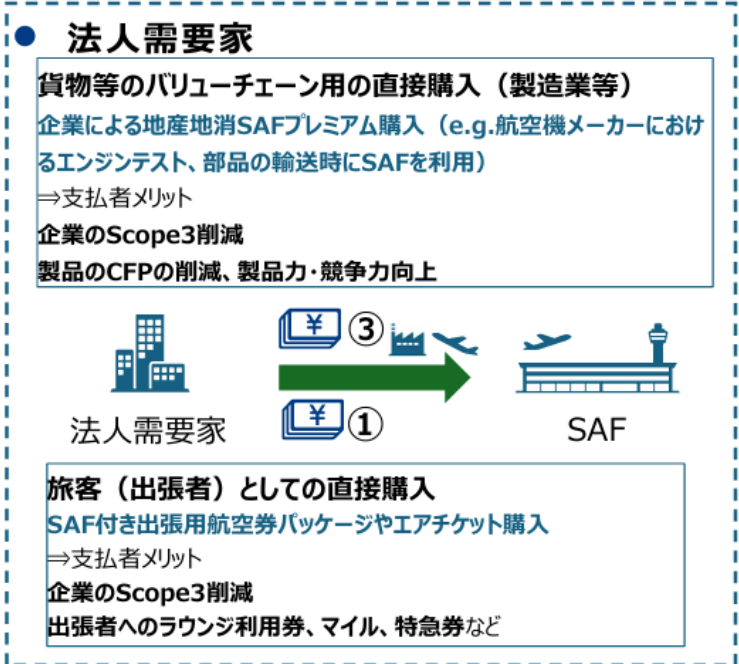


出所：本協議会第2回会合資料2-3 認証制度WGにおける進捗の報告より引用

# ③ものづくり企業の率先利用等を想定した認証制度の継続検討

- **ものづくり企業の率先利用等を想定した認証制度の検討の方向性は以下のとおり。**
- ✓ **地産地消SAFの定義に関する検討**：後述するトレーサビリティ実証において得られることが確認されたデータに照らして、地産地消SAFの定義の検討を行う。(この他、国の地産地消SAFに関する検討状況も踏まえることとしたい)
- ✓ **地産地消SAFの価値訴求に関する検討**：2025年度に整理した内容も踏まえ、具体的に関心を持つ構成員メンバー複数社にとっての地産地消SAF利用の具体化なメリットについて把握・整理を進める。(例としてトレーサビリティ実証に基づくScope3の削減の主張に用いる可能性について整理)
- ✓ **その他**：平行して、ふるさと納税等の活用の可能性についても情報収集を進める。またNTTデータが検討を進める環境価値取引システムの活用の検討も進める。

## 2025年度に整理した法人需要家への価値訴求イメージ



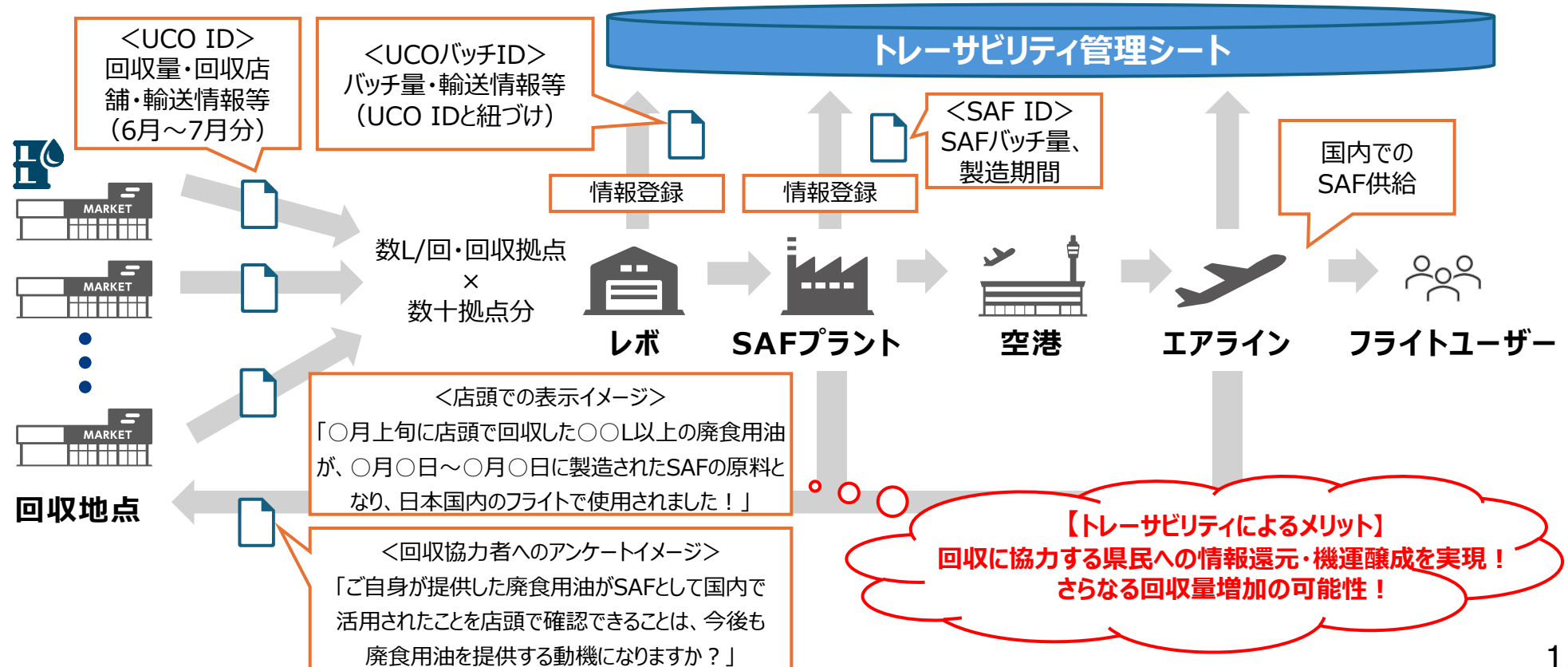
## 検討例：トレーサビリティ実証に基づくScope3の削減の主張への活用可能性

- 本協議会におけるトレーサビリティ実証及び検証
- ✓ スーパー等の店舗での回収において取得した回収量・回収店舗・輸送情報等
  - ✓ SAFバッチ量、製造期間との紐づけ
- ➡
- Scope3の削減の主張のためのルール(例)**
- ✓ GHG Protocol Scope 3 Standard
  - ✓ IATA SAF Accounting & Reporting Methodology
  - ✓ 国土交通省 SAF利用可視化ガイドライン

# ④トレーサビリティの実証及び検証（トレースバックの検討）

- 今年度は、具体的な廃食用油の量や由来に関する情報をトレースする運用を実証するとともに、回収協力者への情報還元（トレースバック）を行うことで機運醸成につなげることを目指し、各所と調整中。
- 回収協力者への情報還元（トレースバック）の具体的な実施予定事項は以下のとおり（秋頃の実施を予定）
  - ✓ 「愛知県内で回収された廃食用油がSAFに変換され、日本国内で利用された」ことを店頭で示す。
  - ✓ 店頭回収協力者へのアンケート等を通じ、店頭表示が回収協力の動機付けとなるかを検証する。

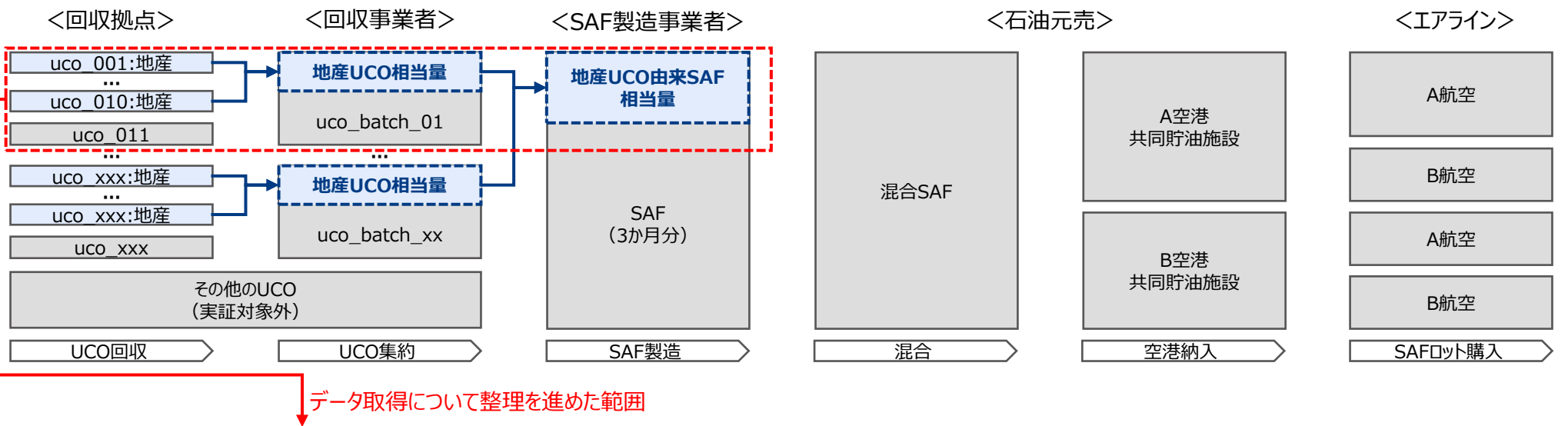
## 2026年度トレーサビリティの実証及び検証 全体像



# ④トレーサビリティの実証及び検証（データ取得・整理の進展）

■ 回収協力者への情報還元（トレースバック）の実施に向けた調整と並行して、トレーサビリティの実証で用いるデータの入手は進展。トレーサビリティのデータの粒度やデータの運用についての検討を継続している。

## 2026年度トレーサビリティのデータ運用の状況



回収～SAF製造マスバランス期間までのデータ整理イメージ

| UCO ID  | UCO回収・輸送情報 |           |        |          |            |           |              |               |            |                          | UCOバッチ情報       |          |         |        | SAF製造情報           |   |    |   |            |
|---------|------------|-----------|--------|----------|------------|-----------|--------------|---------------|------------|--------------------------|----------------|----------|---------|--------|-------------------|---|----|---|------------|
|         | 回収日        | 回収拠点      | 県内or県外 | 事業系or家庭系 | 回収量<br>(L) | 回収<br>ルート | 輸送距離<br>(km) | 最大積載量<br>(トン) | トラック<br>型番 | 集約拠点                     | UCOバッチID       | 出荷日      | 集約量 (L) |        | SAF製造<br>マスバランス期間 |   |    |   |            |
|         |            |           |        |          |            |           |              |               |            |                          |                |          | 地産UCO   | 実証対象外  |                   |   |    |   |            |
| uco_001 | 2026/7/1   | 回収拠点A     | 県内     | 家庭系      | 50         | A         | 50           | 2             | ABC-123456 | レボインターナ<br>ショナル<br>●●営業所 | uco_batch_0001 | 2026/7/3 | 500     | 12,500 | 2026年7月～9月        |   |    |   |            |
| uco_002 |            |           |        | 事業系      | 50         |           |              |               |            |                          |                |          |         |        |                   |   |    |   |            |
| uco_003 |            | 回収拠点B     | 県内     | 家庭系      | 50         |           |              |               |            |                          |                |          |         |        |                   |   |    |   |            |
| uco_004 |            |           |        | 事業系      | 50         |           |              |               |            |                          |                |          |         |        |                   |   |    |   |            |
| uco_005 |            | 回収拠点C     | 県内     | 家庭系      | 50         |           |              |               |            |                          |                |          |         |        |                   | B | 85 | 2 | ABC-123456 |
| uco_006 | 事業系        |           |        | 50       |            |           |              |               |            |                          |                |          |         |        |                   |   |    |   |            |
| uco_007 | 2026/7/2   | 回収拠点D     | 県内     | 家庭系      | 50         | C         | 90           | 2             | ABC-123456 |                          |                |          |         |        |                   |   |    |   |            |
| uco_008 |            |           |        | 事業系      | 50         |           |              |               |            |                          |                |          |         |        |                   |   |    |   |            |
| uco_009 |            | 回収拠点E     | 県内     | 家庭系      | 50         |           |              |               |            |                          |                |          |         |        |                   |   |    |   |            |
| uco_010 |            |           |        | 事業系      | 50         |           |              |               |            |                          |                |          |         |        |                   |   |    |   |            |
| uco_011 |            | 実証対象外のUCO |        |          |            |           |              |               |            |                          |                |          | 12,000  | —      |                   | — | —  | — |            |

# 今後の予定と各活動の進捗報告について

# ウェブサイト等を通じた情報発信の推進

- 次回の協議会は2027年2月を予定。
- 本資料で紹介したモデル実証、PR事業の進捗については随時、愛知県（本協議会）のホームページを通じてご報告します。
- 協議会メンバーには随時、メール等でご案内する予定です。

## （参考）本協議会のウェブサイト

### あいち地産地消SAFサプライチェーン推進協議会

ページID:0601380 掲載日:2026年5月28日更新 [印刷ページ表示](#)

愛知県の航空分野におけるCO2排出量削減を図るため、企業や市町村等が連携し、「地産地消SAFサプライチェーン構築プロジェクト」の推進をはじめ、この地域でのSAFサプライチェーンの構築を目指し、「あいち地産地消SAFサプライチェーン推進協議会」(以下「協議会」という。)を設立しました。

※SAF(Sustainable Aviation Fuel)…廃棄物等を原料とするジェット燃料で、従来のジェット燃料と比較して60～80%のCO2削減効果がある。

### 協議会について

愛知県は、2050年カーボンニュートラルを実現するため、革新的な脱炭素プロジェクトのアイデアを募集し、学識者からなる「あいちカーボンニュートラル戦略会議」で優れたプロジェクトを選定し、事業化支援を行っています。2024年12月26日(木曜日)に開催した戦略会議において、株式会社レポインターナショナル、株式会社NTTデータから提案のあった「地産地消SAFサプライチェーン構築プロジェクト(以下「プロジェクト」という。)」を選定しました。

この度、プロジェクトの事業化支援を始め、この地域でのSAFサプライチェーンを構築するため、企業や市町村等からなる「あいち地産地消SAFサプライチェーン推進協議会」を2025年8月8日に設立しました。

